

2021年1月7日

各 位

会 社 名 Delta-Fly Pharma株式会社
代表者名 代表取締役社長 江 島 清
(コード:4598 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部門担当 黒 滝 健 一
(TEL:03-6231-1278)

がん微小環境改善剤「DFP-17729」の開発技術基盤と知財基盤に関するお知らせ

末期の膵臓がん患者を対象とする DFP-17729 の臨床第1/2 相試験が日本国内で進行中ですが、ヒトの膵臓がん細胞を移植した動物を用いて、がん微小環境改善剤によって膵臓がん治療薬のテイエスワンの治療効果が高まることが確認されました。

アルカリ性の重炭酸イオンの血中濃度が上昇し、その結果、がんの周りの酸性環境が炭酸水素イオンにより中和された事実を、がんの周囲に微小電極を挿入する方法で確かめました。以上の実験結果を Biological and Pharmaceutical Bulletin 誌(Biol. Pharma. Bull.誌)に投稿していましたが、この度、論文が採択され、特集記事として選定されました。Biol. Pharma. Bull.誌の今年の2月号に掲載される見込みです。

悪性メラノーマ細胞を移植した動物を用いて、がん微小環境改善剤によって、悪性メラノーマ治療薬(がん免疫チェックポイント阻害剤)の効果が高まることが確認されました。アルカリ性の炭酸水素イオンの血中の濃度が高まり、その結果、がん細胞の周りの酸性環境が炭酸水素イオンによって中和された事実を確かめました。

上述の論文内容に係る発明を全世界に特許出願していますが、末期の膵臓がん患者を対象とする DFP-17729 の臨床第1/2 相試験を実施している日本国で特許が成立しました。DFP-17729 に係る発明は合わせて3種類となりますが、何れも日本国で特許が成立しております。膵臓がんの適応だけでなく、悪性メラノーマ、胃がん、非小細胞肺癌等の適応取得のための日本における開発技術的基盤と知財基盤が整いました。

本件に関する今期業績への影響は現時点でありませんが、今後、業績への影響が判明した場合には速やかに公表いたします。

以 上